

これを克服するには、「分らない」と投げ出さずに、「少しでも分かる」という気持ちで自分の心の中に育てることで「分らない」と決めます。「分らないのは、自分つけてしまつのは、自分の心の中に壁を作つてしまつことです。あるいは、ブレーキをかけてしまつことです。これでは前に進めません。

一度で全部を完璧に理解できないのは普通のことですから、あきらめたり投げ出したりしないことです。少しでも分かうとする気持ちが大事なのです。そういう心が自分の中に育てくれば、次第に授業が分かるようになります。受験勉強にもなつて行きます。

復習はすぐにやるから意味がある

二つ目は、家庭学習。特に復習の習慣化です。授業を受けて家で復習、定期考査前にもう一度復習、受験前にさらに復習という具合に、同じことを3回以上やれば、たいい

中1から高3まで仲良く活動しているチーム。昨年の県新人大会で県ベスト8入り。県高校リーグB1グループでは準優勝し、入替戦でAグループ（1部）昇格決定。県ベスト4を目標に、鍛え合いながらも楽しむことを忘れずに練習しています。「仲間を信じて 心をひとつに」が、部のモットーです。（写真・文：学校提供）

るのです。完全に忘れてしまってからやり直すのは復習とは言いません。学校によっては間もなく中間審査かもしれませんが、授業は分かってと努力する、その日のうちに復習する。この二つを実行しただけで、皆さんは今までより数段良い結果を残せるでしょう。

るのです。完全に忘れてしまってからやり直すの

受験生の疑問に答えるQ&A 4面

専門家の先生がみなさんの疑問・不安にズバリ解答!!

1 カンタン! 3ステップでキミの
条件にあった学校が見つかります

分でわかる!

無料 高校併願シミュレーション

併願.com
h e i g a n 関東版

<http://www.hei-gan.com>

ケータイで読み
取ってアクセス!



「高校入試活性化委員会」powered by 株式会社リビジョン

東京都台東区上野7-8-8 TEL 03-3841-3009

◆数学

いよいよ中3となり、受験に向けて、今まで以上に力を入れて勉強したいと思っている人も多いのではないでしょうか。今のうちに、中1・中2の学習内容をしっかり復習しておくことで、今後の入試に向けての学習がより充実したものとなります。

【1】基本的な知識・技能を復習

まず、自分自身の苦手な部分を把握することが重要です。模擬試験などを利用して、苦手な単元を把握しましょう。その単元を教科書の章末問題などを使って、重点的に復習し、基本的な知識や技能を確実に身につけましょう。たとえば、確率が苦手な場合は、次のような問題を練習してみてください。

問題

- (1) 1, 2, 3, 4, 5の数が1つずつ書かれた5枚のカードがあります。このカードをよくきってから、1枚ずつ2回続けてひき、1枚目のカードを十の位、2枚目のカードを一の位とする2けたの整数をつくります。このとき、できた整数が42以上になる確率を求めなさい。
- (2) 箱の中に、赤玉3個と青玉2個が入っています。この箱の中から、同時に2個の玉を取り出すとき、取り出した玉の色が同じになる確率を求めなさい。
- (3) 大、小2つのさいころを同時に投げるとき、2つのさいころの目の数の和が4の倍数になる確率を求めなさい。

【2】活用する力をつける

基本的な知識や技能が身についたら、次に、知識や技能を活用する練習をしましょう。過去の入試問題でも、中1・中2の学習内容のみで解ける問題もあります。たとえば、平成30年度入試の大問5の確率の問題です。上記の確率の問題と比べてみましょう。

▼平成30年度 神奈川県公立入試問題 数学 問5より

問5 右の図1のように、2つの円O、O'がある。線分OO'上に2点O、O'とは異なる点Xがあり、線分OXは円Oの半径、線分O'Xは円O'の半径である。

また、円Oの周上には、3点A、X、Bが時計回りの順に並んでおり、円O'の周上には、3点C、D、Xが時計回りの順に並んでいる。

さらに、点Aの位置に点Pがある。

大、小2つのさいころを同時に1回投げ、大きいさいころの出た目の数をa、小さいさいころの出た目の数をbとし、出た目の数によって、次の【ルール①】、【ルール②】にしたがい、点Pを円周に沿って移動させる。

【ルール①】 aとbの和だけ、点Aを出発点とし、円の周上の点を時計回りの順に1つずつ移動させる。

【ルール②】 aがbの約数であるとき、点Xの次は円O'の周上の点を時計回りの順に移動させ、aがbの約数でないとき、点Xの次は円Oの周上の点を時計回りの順に移動させる。

例

大きいさいころの出た目の数が1、小さいさいころの出た目の数が4のとき、【ルール①】により、点Pを、1と4の和の5だけ、点Aを出発点とし、円の周上の点を時計回りの順に1つずつ移動させる。そのとき、1は4の約数であるから、【ルール②】により、点Xの次は円O'の周上の点を時計回りの順に移動させる。したがって、点PをA→X→C→D→X→Cと移動させることとなる。

この結果、点Pは図2のように点Cの位置にある。

いま、点Aの位置に点Pがある状態で、大、小2つのさいころを同時に1回投げるとき、次の問いに答えなさい。ただし、大、小2つのさいころはともに、1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

(ア) 点Pが点Xの位置にある確率として正しいものを次の1～6の中から1つ選び、その番号を答えなさい。

1. $\frac{1}{12}$

2. $\frac{1}{6}$

3. $\frac{1}{4}$

4. $\frac{1}{3}$

5. $\frac{5}{12}$

6. $\frac{1}{2}$

(イ) 点Pが点Bの位置にある確率を求めなさい。

どうでしょうか。確率の基本的な知識や技能を知っているだけでは、太刀打ちできません。さらに試験時間は限られていますから、速く、正確に解かなければなりません。問題を読み、ルールを把握する力、順序立てて考える力が必要です。今回の問題であれば、ルールを理解するために試行することや、aがbの約数である場合と約数でない場合に分けて考えることが、速く、正確に解答を導くことにつながります。

入試問題では、このように、基本的な知識や技能だけでなく、それを活用しながら、思考する力や判断する力が試されます。練習するには、過去の入試問題がよいですが、まだ習っていない中3の学習内容も含まれているので、模擬試験などを利用するのも一つの手です。より多くの問題にふれ、思考力・判断力を磨いていきましょう。

【解答】

- (1) $\frac{7}{20}$ (2) $\frac{2}{5}$ (3) $\frac{1}{4}$

臨海セミナー 数学担当：小野田えり



編集協力：臨海セミナー

◆英語

中3になって、入試に向けた勉強を本格的に始める人が多いですが、まずは実際の入試問題がどんなものか、一度整理をしておきましょう。

神奈川県公立高校の英語の入試は、リスニングの問題、単語や文法の知識を問う問題、表現力を試す問題、英文や資料を読み解く問題で構成されており、英語を「聞く」「読む」「書く」力が問われます。近年は特に、与えられた英文と、イラストや地図、表、グラフなどの資料を照らし合わせて必要な情報を読み取り、それを整理して解答する問題がよく出題されています。

このような入試に対応できるようになるためにはまず、「英文を正しく理解する力」をつけておく必要があります。その力をつけるために夏までにぜひ取り組んでほしいことを、今回は紹介します。

【1】単語・表現・文法の復習をする

▼平成30年度 神奈川県公立入試問題 外国語(英語) 問3より

(イ) Yoshio has two brothers and he is the () of the three.

1. younger than

2. youngest

3. young

4. as young

左の問題は、今年の2月に行われた実際の入試の問題です。中2で学習する「比較」の単元からの出題です。このように、入試では中2までの知識だけで解答できる問題が出題されることも少なくありません。ですからまずは、中1・中2で学習した単語や表現、文法をしっかり身につけることから始めましょう。復習のために単語帳や問題集を新たに購入するのもよいですが、中1・中2で使った学校の教科書を用いるという方法もあります。単語や表現は、教科書の索引を活用しましょう。索引は、掲載されている単語や表現の中でも特にどれが重要なかが太字や印でわかるようになっているので、復習の目安にするのに適しています。文法は、教科書の単元毎に掲載されている「基本文」をもう一度確認していきましょう。基本文を読んで理解できるかだけではなく、自分で書くことができるかを試してみるとよいでしょう。

単語・表現・文法に自信がある人には、同じ意味や似た意味、反対の意味など、関連性のある単語や表現をまとめていくことをおすすめします。入試では、与えられた文を別の単語や表現に言い換えて解答する問題もよく出題されます。たとえば右の問題は、入試で出題されたリスニングの問題です。空欄②に当てはまる1語を答える問題で、空欄の前にはtravel(旅行する)という単語があります。しかし放送ではvisit other countries(他の国々を訪れる)と読まれるため、答えるときには別の表現を考える必要があります。他にも、英語の文章の内容を問う問題において、本文と同じ内容が本文中とは異なる表現で書かれた選択肢がよく見られます。ひとつのことがらを複数の言い回しで表すことができるようになっておくことが、そういった問題への対応力をアップさせます。

▼平成30年度 神奈川県公立入試問題 外国語(英語) 問1より

(ウ)

“What do you want to do during this summer vacation?”

Answer	The Number of Students
To play sports	
To read books	①
To watch movies	
To learn new things	
To travel ②	4
Other things	8
Total(合計)	40

No. 2 ② の中に適する1語を英語で書きなさい。

【2】英語の文章を読む練習をする

単語・表現・文法がしっかり復習できた人は、英語の文章を読む練習をしましょう。入試では、読解問題1題につき500～700語程度の文章を読むことになりますが、その1題を10～15分で解かなければなりません。つまり、文章内容をすばやく読み取って理解する力が必要です。そのためには、夏までには英語の文章を読み慣れておきましょう。読む練習にも、学校の教科書が活用できます。特にリーディングのページには通常の単元のページよりも長い文章が掲載されていることが多く、練習の題材として適切です。内容を理解するのも大切ですが、スピードも意識して読むようにしましょう。途中でわからない単語や表現が出てきたら、下線などの印をつけて、読み終えてから調べるようにしましょう。英語の文章を読むスピードが上れば、内容を理解して問題を解くことに、より多くの時間を使えるようになるはずですよ。

【3】今の実力を知る

現段階での自分の弱点を把握するために、模擬試験を受けてみるのも良いでしょう。夏休みに開催される模擬試験は、中1・中2と中3のはじめに学習した内容から出題されているものが多いです。どんな単語・表現・文法でつまづくのか、文章をどの程度読むことができるのかといった現段階での実力を知ること、自分に必要な復習や練習が見えてくるはずです。また、「試験」という形で受けることで、入試本番の雰囲気や時間の感覚をつかむこともできます。模擬試験を受けに行く機会は、定期的に設けておくことをおすすめします。

今回は基本的な知識の復習に焦点をあてましたが、入試ではさらに、1つの英文の中で複数の表現や文法を用いた問題も出題されます。そのような問題に対応するには、英文に使われている単語・表現・文法を十分に理解しておく必要があります。復習に集中できる期間である今のうちに、中学英語の基礎である中1・中2の学習内容をしっかりと固めておきましょう。

臨海セミナー 英語担当：植あかり

2018年度(平成30年度) 神奈川県内私立入試の概況

「私立志向が上昇! 応募者数もこの年で最多!」

2018年度の県内私立高校の入試概況とトピックをまとめてみたいと思います。

今春の県内私立高校の応募者数は推薦・一般書類選考・オープン入試を合わせて約56,500人、昨年は約55,200人でしたので、総数は大幅に増加しました。応募者数としては、この5年間で最多となる人数で、私立志向がうかがえる結果となりました。

この様な状況の中、特に影響を与えたのは、桐蔭学園の体制変更による大幅な応募者増です。これまでの、男子部・女子部を統合して共学とし、高校からの入学生は完全別クラスに再編されました。また、コースについてもプログレスコース(難関国公立大学や医学部対応)「アドバンスコース(国公立大学・早慶等難関私立大学対応)」「スタンダードコース(国公立大学・私立大学対応)」の3コース制になり、これまで行ってきたアクティブラーニングに代表される「21世紀型スキル」による学校改革とともに進路実現にも力を注ぐ姿勢に大きな期待が集まったのではないのでしょうか。結果、昨年の応募者2,186

人から5,230人へ3,000人超の大幅増になりました。

この様な変更だけでなく、共学化やコースの新設・学科変更などカリキュラムに関わる変更点も志望者動向に大きく影響しますので注意が必要な情報です。今春の動きの中からいくつかの学校を紹介してみたいと思います。

法政大学女子が共学化し「法政大学国際」に校名変更。昨年、国際バカロレアの正式認定校となり、グローバル探究と国際バカロレアの2コース制で募集。

捜真女学校が高校募集を開始推薦入試と書類選考入試で定員10人。

白鵬女子が「フイードコイディネートコース」を新設。

山手学院が推薦入試を廃止。湘南学院は上位コースを目指すチャレンジ試験(一般入試のみ学科試験(マークシート式)を課し、それ以外は全コース書類選考に変更。

2019年度には横浜富士見丘学園が共学化することがすでに発表になっていますし、2020年度には横浜が共学化することを表明しています。共学化やコース変更は受験に大きく影響しますので、今年も情報をしっかりと収集するようにしましょう。

◆社会

今年2月に行われた神奈川県公立高校入試の社会の合格者平均点は41.8点で、5科目の中で最低となりました。だからこそ、社会で高得点をとれば、志望校合格の可能性が高くなります。

では、社会の対策として現時点では何をすればよいのでしょうか。答えは1つではありませんが、今は中1・中2で学習した地理・歴史の復習をするべきです。そこで今回は、現時点でできる地理・歴史の復習のポイントを紹介します。今後の学習の参考にしてください。

【1】一問一答形式で重要な用語を覚える

入試問題を解くためにはその前提となる知識が絶対に必要です。最初は教科書にある重要な用語を覚えるところから始めましょう。「江戸幕府の8代将軍は徳川吉宗」のような内容でかまいません。また、作品の作者名、写真や肖像画の人物名などの資料に関する知識もあわせて身につけましょう。覚えられたかどうかは一問一答形式の問題で確認をするといいです。

【2】関連することからや用語の説明をあわせて覚える

【1】の覚え方がある程度できたら、絵や写真などの資料と用語に関連することから覚えるようにしましょう。まとめて覚えることで、実際に入試で使える知識となります。たとえば、「徳川吉宗」について関連することからをいくつかつあげることができますか？一つの例として「享保の改革」を行ったことがあげられますね。では、その改革の内容は答えられますか？「新田開発をすすめる」「公事方御定書を定める」「目安箱を設置する」「上げ米の制を定める」など様々な政策が挙げられます。そこからさらに、「公事方御定書」は裁判の基準を定めたもの、「上げ米の制」は大名に米を出させる代わりに参勤交代の期間を半分にすることといったように、用語の説明もあわせて覚えましょう。

下の入試問題を例に考えましょう。下線部の人物は「18世紀前半に8代将軍となり」とあることから「徳川吉宗」だとわかります。上記の覚え方ができていると、徳川吉宗が1の政策（上げ米の制）を行ったとわかります。入試の問題には知識から派生していく形で構成されているものもあります。知識を関連づけて覚えることで、入試に向けてより実戦的な力が身につきます。まずは教科書で同じ項目にまとめられているものを一緒に覚えたり、地理であれば地形や地名などと結びつけて覚えたりしていくとよいでしょう。

▼平成30年度 神奈川県公立入試問題 社会 問3より

18世紀前半に8代将軍となり、改革を進めた^㉔この人物は、かつて和歌山城の城主であった。

(オ) ———線⑤に関して、あとの各問いに答えなさい。

(i) この人物が将軍となってから進めた改革の内容を表したものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 石高一万石につき米百石の割合で差し出しなさい。これによって、参勤交代で江戸にいる期間を半年短縮するので、ゆっくり休息するように。

2. 今後は、傷ついている犬で誰が傷つけたのか犯人がわかって、それが本人以外から明らかになったならば、町中の落ち度とする。

3. 問屋たちに不正行為があるというわさがあるので、今後は上納金を納める必要は無い。だからこれからは、株仲間などと称することは禁止する。

4. 地租改正が実施されたら、土地の価格に従って税を課するので、以後はたとえ豊作の年であっても増税しないのはもちろんのこと、凶作の年でも減税は一切行わない。

【3】資料からわかる情報と知識を結びつける

▼平成30年度 神奈川県公立入試問題 社会 問1より

表Ⅰ

石炭	11.8%
パーム油	9.9%
機械類	9.0%
液化天然ガス	6.6%
原油	5.3%
その他	57.4%

表Ⅱ

原油	62.9%
木材	8.8%
コーヒー豆	5.5%
生ゴム	5.4%
石油製品	4.3%
その他	13.1%

〔日本国勢国会〕をもとに作成

この国は、1980年代ごろから日本企業などとの結びつきを強め、産業が大きく変化した。表からは、1977年は^㉑き^㉒が輸出品の第1位であるが、2014年になると^㉓く^㉔ことがわかる。

1. き：石炭

く：日本企業などの原油に対する需要が高まり、原油の輸出額の割合が増加した

2. き：石炭

く：日本企業などの進出で農林業が発達し、木材の輸出額の割合が増加した

3. き：原油

く：日本企業などの生ゴムに対する需要が高まり、生ゴムの輸出額の割合が増加した

4. き：原油

く：日本企業などの進出で製造業が発達し、機械類の輸出額の割合が増加した

【2】までできるようになったら、資料からわかる情報と知識を結びつける練習をするといいです。グラフや表を用いた問題に挑戦してみましょう。

上の入試問題はインドネシアの1977年と2014年の主な輸出品に関するものです。表Ⅰは石炭などの鉱産資源や機械類の輸出が中心であり、表Ⅱでは鉱産資源である原油や木材・コーヒー豆・生ゴムなどの農作物の輸出が中心であることが読み取れます。近年、インドネシアでは工業化が進んだという知識を用いることで、輸出品目が表Ⅱから表Ⅰのように変化したと判断できます。よって正答は4となります。

このように、資料問題はグラフや表の数字の大小や増減などに注目して、資料から必要な情報を探し、知識を活用して考えなければなりません。多くの類題を解いて慣れることが一番の対策です。教科書や資料集には様々なグラフや表が載っているので、それらが何を示しているかを理解しておく、今後の学習にも有利になるので、積極的に覚えていきましょう。

今の時期は、新しく学習する内容を精一杯で復習にまで手がまわらないという方が多いと思われます。地理・歴史の復習が「できた」のか「できなかった」のかで入試の結果は大きく変わります。社会の問題を解くには、前提となる知識が必要であるため、今から地理・歴史の復習をしておくことが合格への近道です。模擬試験は地理・歴史分野からも多く出題されるので、定期的に受けて入試に備えた練習をするといいでしょう。

臨海セミナー 社会担当：市村充

◆理科

実力をつけ、得点力を身につけるために、次のような段階を踏んで学習に取り組んでみてはいかがでしょうか。ぜひ参考にしてください。

【1】実力の把握

試験範囲のせまい定期テストではなく、これまでの学習内容が総合的に出題される模擬試験を利用しましょう。より正確に自分の力がわかるはずです。そして、模擬試験は何を復習すべきかも教えてくれます。ぜひ、積極的に受験しましょう。

【2】知識量の増大

さまざまな問題を解くためには、基礎が大切です。その基礎は揺るがない知識の豊富さと正確さです。教科書、ワーク、一問一答集、図表整理などで確実なものにしておきましょう。教科書は挿絵や写真に関する語句と注意書きも覚えましょう。

【3】計算問題の対策

理科の特徴とも言える計算問題の克服なくして、入試突破はできません。密度、圧力、オームの法則など多くのパターンと公式があります。しかし、きちんと復習すると公式自体は似たものが多く、覚えるのはそれほど大変ではないと気がつくはず。復習初期は、計算問題だけをまとめた問題集を使って練習するのが良いでしょう。

【4】実験や観察の問題への対応力

理科の醍醐味です。出題のパターンは3つあります。1つ目は、結論・結果を自分の知識から選び出すもの。2つ目は、関連知識を問うもの。3つ目は、結果をもとに推測するもの。どれもさまざまな発展問題に広がります。大事なのは、何について問われているか、何を答えるべきかを把握してから解答を導き出すことです。では、ここまでの内容について、実際の高校入試問題を使って一緒にみてみましょう。

▼平成28年度 静岡県公立入試問題 理科 問3より

3 状態変化と化学変化に関する(1)、(2)の問いに答えなさい。(11点)

(1) 赤ワインは、エタノールや水などの混合物である。

図6のように、赤ワインを枝つきフラスコに入れ、弱火で加熱した。ガラス管から出る気体を冷やして、試験管Aに2cm³の液体を集めた。続けて、試験管B、Cの順に2cm³の液体を集めた。図7は、このときの赤ワインの加熱時間と温度との関係を表したものである。

また、もとの赤ワインと試験管A～Cの中の各液体に、ろ紙をひたし、そのろ紙を火に近づけたところ、表2のような結果になった。

表2

	ろ紙を火に近づけたときのようす
もとの赤ワイン	燃えなかった
試験管Aの中の液体	よく燃えた
試験管Bの中の液体	燃えたが、すぐ消えた
試験管Cの中の液体	燃えなかった

① 次のア～エの中から、赤ワインを加熱する前における、図6の枝つきフラスコ内の[㊦]付近でのエタノール分子と水分子のようすを述べたものとして、最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア エタノール分子と水分子は、ともに飛び回っている。

イ エタノール分子は存在しないが、水分子は飛び回っている。

ウ エタノール分子は飛び回っているが、水分子は存在しない。

エ エタノール分子と水分子は、ともに存在しない。

② 図7と表2をもとにして、試験管A～Cの中の各液体について、a～cの問いに答えなさい。

ただし、試験管A～Cの中の各液体には、エタノールと水以外の物質は含まれていないものとする。

a 試験管Aの中の液体における、水に対するエタノールの割合は、もとの赤ワインと比べて、どのようであると考えられるか。次のア～ウの中から、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。また、試験管Aの中の液体における、水に対するエタノールの割合がそのようになると考えられる理由を、沸点という言葉を用いて、簡単に書きなさい。

ア 大きい

イ 小さい

ウ 同じ

b 次の[㊧]の中の文が、試験管A～Cの中の各液体における、水に対するエタノールの割合と密度について適切に述べたものとなるように、文中の(㊡)、(㊢)のそれぞれに補う言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。ただし、エタノールの密度は水の密度の0.79倍とする。

表2の結果から、試験管A、B、Cとなるにつれて、各液体における水に対するエタノールの割合は(㊡)なり、各液体の密度は(㊢)なったと考えられる。

ア ㊡ 大きく ㊢ 大きく

イ ㊡ 大きく ㊢ 小さく

ウ ㊡ 小さく ㊢ 大きく

エ ㊡ 小さく ㊢ 小さく

c 試験管Bの中の液体の密度を測定したところ、0.87g/cm³であった。また、試験管Bの中の液体の質量パーセント濃度は70%である。試験管Bの中の液体1.0cm³に含まれるエタノールの質量は何gか。小数第3位を四捨五入して小数第2位まで書きなさい。

図6

図7

①大気中に水蒸気が含まれることは十分に知っていることでしょう。知識の問題です。エタノールは？と問われたら迷うことでしょう。アルコールも蒸発するという知識があれば簡単に解くことができます。知らなくてもアルコールの臭いをかいだことがあることから、大気中にエタノールがあることが想像できます。**知識を広げる**が発想の転換ができれば解決できます。

②a 原理の説明です。これも語句知識とは少し異なりますが、**知識の範囲**といえます。ただし、説明する文を作るので、使用する語句の順序を考えて書く必要があります。

②b 密度の大きさを考えなくてはなりません。混合物に含まれる液体の割合を考えてから、混合物の密度を考えます。エタノールの密度の数値が示されていますが、この問題は計算ではなく、数値をもとにおおよその密度を想像して解きます。**密度や割合の意味を理解**しておくことが必要です。

②c 混合物1cm³に含まれるエタノールの質量を求める問題です。濃度、密度の**公式を順に用いて計算**します。しかし、**何を答えるか**を把握して、2つの計算の順序をよく考えなくてはなりません。公式を暗記した程度の技能では解くことはできないでしょう。十分な練習が必要であることがわかります。

知識の量を増やすこと、計算技能を高めておくこと、何が問われているかをしっかり把握することが重要だと分かりましたね。

1学期に基礎力を高め、模擬試験を受験し、夏休みに何をどのように学習していくかの目標を立てていきましょう。そして秋からは、さらに難度の高い問題を突破するためのテクニックや深く考えて答えを導く力をつけていきましょう。

臨海セミナー 理科担当：小笠原晁

「書類選考型」入試は更に拡大

もう一つの特徴として挙げられるのが「書類選考型入試」が年々増加していることです。

この入試は、神奈川県の特長なスタイルで、制度的には一般入試の一つです。公立中学校との入試相談で特に問題がなければ、原則出願書類のみで学科試験や面接もなく合格できるというものです（一部面接等の実施校はあります）。

この書類選考入試は、もともと法政第二や法政女子が第一志望の受験生に対して実施していました。2009年に鎌倉学園が実施したことで男子校に広がり、さらに女子校共学校にも広がってきました。ここ数年、県内では実施校が増加してきており、今春は推薦入試と書類選考入試を合わせた応募者数が15,000人を越えました。実際に私立高校受験者の4分の1以上が推薦または書類選考を利用していることになります。

来年の受験に挑戦する皆さんも、これからは更に情報を先取りし、自分にあった志望校選びをしていきましょう。

監修：高校入試活性化委員会(株式会社リヴィジョン)

「併願.com」から見た検索校

一昨年、リリースされた検索サイト、「併願.com」のデータから県内私立高校のエリア別検索ランキングを見てみると、次の様な学校が上位にきています。

「川崎横浜エリア」武相・日本大学(日吉)・桐

藤学園・横浜富士見丘横濱翠陵・橘学苑

「横須賀・鎌倉エリア」アレセイア湘南・日本大学藤沢・湘南学院

「県西エリア」旭丘

「相模原・厚木エリア」相模女子大・東海大相模・光明相模原

いずれの学校も実際の応募者が増加もしくは安定的な学校で、早い段階から受験生が情報収集していたことが伺えます。

また、県内の受験生が「併願.com」で検索した私立高校のエリアデータを見てみると、川崎横浜エリアや相模原・厚木エリアを中心に全検索学校数の約半数は東京エリアの私立高校を検索しています。神奈川県内から県外(多くは東京だと推定される)の私立高校への進学者が毎年5,000人程度いることを考えると、広い視野で志望校選びをしている受験生が多いと言えます。

来年の受験に挑戦する皆さんも、これからは更に情報を先取りし、自分にあった志望校選びをしていきましょう。

監修：高校入試活性化委員会(株式会社リヴィジョン)

「併願.com」から見た検索校

一昨年、リリースされた検索サイト、「併願.com」のデータから県内私立高校のエリア別検索ランキングを見てみると、次の様な学校が上位にきています。

「川崎横浜エリア」武相・日本大学(日吉)・桐



受験生の疑問に答える

専門家の先生がみなさんの疑問・不安にズバリ解答!!

キューアンドエー



頭の準備の前に心の準備

戦いは避けて通れませんが、覚悟を決めるしかありません。逃げない強い心を持てるようにがんばっていきましょう。

何から始めていいかわからないということですが、あまり心配はいりません。焦らなくてもだんだん分かってきます。ただ、自然にそうなるというわけではありません。

受験で大事なものは実は「心の準備」です。「頭の準備」より前に「心の準備」です。他の言葉で言い換えれば、「やる気」です。

Q1 高校受験、不安だらけです。何から始めていいかも分かりません。

A 不安ですか。そうでしょうね。みんな初めての経験ですから。

ただ、皆さんの周りには受験を知り尽くした人が大勢います。中学校の先生や塾の先生です。分からないことや不安なことはどんどん尋ねれば、少しは不安が解消できるのではないのでしょうか。

ただし、おどかさずようで申し訳ないですが、受験に対する不安は、本番が近づくほど増して行くと思います。

皆さんが本気でぶつかろうとすれば、不安との



Q2 今から頑張っても力は伸びますか？

A 伸びますよ。ぐんぐん伸びます。

ただし、一つ考えておかなければいけません。入試で重要なのは相対的な力だということですから、つまり、あなたがぐんぐん実力を伸ばしても、相手がそれ以上に伸ばせば負けてしまいます。相対的というのはそのことです。

痛い！1・2年生の努力不足

3年生になって受験勉強を始めても、思うように成績が伸びない人がいます。

原因は明らかです。1・2年生の基礎が固まっていなかったからです。忘れてしまったのか、それともそもそも理解できていなかったのか。いずれにしても、1年から3年までの内容がすべて出題範囲になっていますから、早い段階で1・2年生の復習をしておかなければなりません。できれば夏休み終了時には、1・2年生の復習を終わらせたいところです。

では、具体的にどのようにして1・2年生の復習をすればいいかです。いろいろな方法が考えられますが、3年生の勉強をしながら1・2年生の復習を同時に行うことは可能です。3年生の勉強をしていて何か分からないことがあり、その

原因が1・2年生の知識の理解不足にあると分かったら、その場で復習することです。

そのためには、手の届くところから1年から3年までの教科書がすべてそろっていないければなりません。成績を伸ばすにはまずそこからです。



Q3 中間テストや期末テストの勉強は、どうやればよいですか。

A 3年生だからといって特別なやり方があるわけではありません。1・2年生の時と基本的には同じやり方でいいでしょう。

用意するのは教科書とノート。できれば基本問題中心の問題集。教科書やノートを読み返すだけで、ある程度点数は取れると思えますが、理解度を確かめるには、実際に問題を解いてみるのが一番です。

塾に通っている人は、塾の先生が問題を用意してくれていると思います。が、そうでない人は、自分で問題集を用意しましょう。あまり背伸びせず、自分の力に合ったものにしましょう。

テストに役立つノートの取り方が必要

点数を左右するのは

ノートです。ノートの取り方についてはこのコーナーでもいずれ詳しく取り上げる予定ですが、日ごろから、テスト前に役立つノート作りをしておくことが大切です。

黒板にたくさん書く先生と、あまり書かない先生がいると思います。たくさん書く先生だとそれを写すだけでも大変ですが、そういっても自分なりのメモを残すようにしておく、テスト前に非常に役立ちます。

たとえば、授業中に先生は、「ここは重要」と黒板にはそう書かなくても、言葉で言っているかもしれない。それを素早くメモしておく、テスト前に大いに役立ちます。聞いてメモする習慣をつけると、点数が取れるようになります。



Q4 公立入試と私立入試はどう違うのですか。

A 制度や仕組みはかなり違うと言え、むしろ話がかやや複雑になります。話から、具体的な話はおおいこのコーナーで解説していきます。ただ、今の時点でのように勉強するかという点

については、公立も私立も基本的に変わるところはありません。

入試問題は公立も私立も変わらない

1年から3年までの内容が万遍なく出題されます。特定の分野や単元に偏ることはありません。

教科書の内容からはずれて出題されることはありません。

基本的な知識が定着しているかどうか、それを応用する力があるかどうかの両方が試されます。

ということ、少なくとも学力試験については原則変わらないのが基本問題と応用問題の割合などは、公立であれ私立であれ、学校ごとに違いがあると考えておきましょう。

ただし、学校ごとの対策は、まだ今の段階では強く意識する必要はないでしょう。具体的に、○高校対策という形で勉強するのは秋からでも十分間に合います。

今の段階では、学校の試験や模擬試験などで高得点が取れていれば十分です。

それでも不安がある人は、そろそろ学校別過去問題集が発売される頃ですから、それをざっと見ておきましょう。実際に見てみれば、公立の問題と私立の問題に、それほど大きな違いがないことが分かるでしょう。

夏期講習 無料体験授業 間もなく受付スタート!!

※授業料は全て無料です。※体験諸費が必要となります。※別途模擬試験代または教材費が必要となるコース・学年がございます。※臨海セミナー セレクトで1年以内に授業を受けた方は無料体験授業の対象とはなりません。※詳細はお近くの教室までお問い合わせください。

中1・中2

2学期の先取り学習

中3

受験に向けた基礎完成



追加費用なし!! 7月の通常授業から参加可能!!

定期テスト対策に自信あり!!

出題傾向を熟知した情熱講師陣が本気で点数を取らせます!!

★ワークやノート・プリント対策を徹底的に行います!!

★過去問を研究して、傾向をチェックします!!

★進度別・学校別の対策授業で実施します!!

入塾特典

『定期テスト完全攻略book』プレゼント



7/7日

中1・中3

受験料 無料

神奈川統一模試

実際の入試でも、神奈川統一模試と形式・内容がそっくりな問題が多数出題!!

5/20日・6/24日

中3

受験料 無料

特色検査対策模試

豊富なデータに基づく精密な志望校判定模試です。無料の学習相談も行います。

神奈川・東京・千葉・埼玉・大阪に 351 校

1 都 1 府 3 県を結ぶ臨海ネットワーク

臨海セミナー

お問い合わせ・お申し込みはお電話もしくはWEBで!!

☎045-441-4119

